

山口情報芸術センター [YCAM] 長期ワークショップ

meet the artist 2011 「ライブラリーラジオをつくろう」

講師：桂 英史(メディア論研究者)

2011年4月—2012年2月(通年) 参加無料 ※要申込

山口情報芸術センター [YCAM]

人気のワークショップシリーズ第6回目、今年のテーマは「ラジオ」 市民コラボレーターのみなさんと一緒にYCAMの中に小さなラジオ局をつくります！

山口情報芸術センター [YCAM] では、公募により募集される参加者(市民コラボレーター)と、YCAMが招聘するアーティストが1年間に渡って、クリエイティブな活動をおこなう長期ワークショップ「meet the artist 2011『ライブラリーラジオをつくろう』」を開催いたします。

これまで、様々なメディアをテーマに活動を展開してきたmeet the artist。今回のテーマは「ラジオ」です。メディア論研究者の桂英史を講師/アーティストに迎え、参加者のみなさんとともにYCAMの中でのみ聴くことのできる小さなFMラジオ局を開設し、運営します。

番組を聴く人がつくり、つくる人が聴く。そんな開放的なラジオ局の実現を目指していく今回のワークショップは、メディアの歴史やそれを支えるテクノロジーについて学び、公共メディアについて考える貴重な機会となります。

このワークショップの幕開けのイベントとして、4月24日(日)には、講師が今回の活動コンセプトについて紹介するアーティストレクチャー「ライブラリーラジオ宣言」を開催いたします。ぜひ、こちらも併せてご参加ください。

この機会に、取材や記事掲載ご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ 山口情報芸術センター [YCAM] 広報担当：廣田

TEL：083-901-2222 FAX：083-901-2216 e-mail：information@ycam.jp

〒753-0075 山口県山口市中国町7-7 <http://www.ycam.jp/>

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。



参考写真：meet the artist 2010の様子(2010)

公開イベント

アーティストレクチャー「ライブラリーラジオ宣言」

2011年4月24日(日) 14:00—16:00 入場無料 ※要申込

会場：山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA

講師：桂 英史 対象：高校生以上

※申し込み方法については3ページ目を参照ください

大人も楽しめるワークショップシリーズ「meet the artist」

アーティストの視点を通して、私たちに身近なメディア、そして私たちが暮らす街を捉え直す

「meet the artist」とは、公募により募集される市民コラボレーターと呼ばれる参加者と、YCAMが招聘したアーティストが1年間に渡ってじっくりとクリエイティブな活動をおこなう長期ワークショップシリーズです。

アーティストとの創造的な試行錯誤や問題解決のプロセスに立ち会うことで、そのユニークな考え方に触れられるほか、アーティストの視点を通して、私たちに身近なメディアや私たちが日常を過ごしている「街」を改めて捉え直す機会が生まれます。



参考写真：meet the artist 2010の様子 (2010)

これまでの meet the artist

これまで meet the artist シリーズでは、書籍や映像、演劇など様々なメディアをテーマに計5回の長期ワークショップを開催してきました。



2004年 (第1回)

写真家、佐藤時啓による「カメラオブスクラプロジェクト」。カメラの視線をテーマに、ピンホールカメラを使ってパノラマ写真を撮影、展覧会を開催しました。



2006年 (第2回)

アーティスト、フタバコによる「おもいでカレンダー」。山口市内の家庭を取材し、思い出の写真を収集、それをもとに日めくり式万年カレンダーを制作しました。



2007年 (第3回)

哲学者の吉岡洋による「編集ワークショップ」。山口の話題を集め、内容を編集し書籍「Diatxt./ Yamaguchi ヨロボン」を発行しました。



2008年 (第4回)

演出家の高山明とアーティストの瀬藤康嗣による「パフォーマンスを作るパフォーマンス」。山口市の商店街を舞台に「ツアーパフォーマンス」を制作しました。



2010年 (第5回)

アーティストの藤井光による「自分のメディアを創る映像祭」。市民メディアとしての映像をテーマに、誰でも応募できる映像祭を企画し、開催しました。



2011年 (第6回)

そして、今年もあたらしいmeet the artist が始まります。

ラジオ局の運営を通じて、メディアや公共性について考える1年間

「メディア」という言葉に、今までとは違うかたちを与えて考えるために――

「meet the artist 2011『ライブラリーラジオをつくらう』」では、市民コラボレーターを中心に、メディア論研究者の桂英史さんとともに、YCAM内にラジオ局を開設します。そこで放送されるラジオ番組の構成や、録音／編集、さらにはジングルや楽曲制作といったクリエイティブな取り組みなど、放送に向けた様々な過程を通して、現代におけるメディアと公共性の問題を考えていきます。軍事技術から発展し、現在では独自の文化を醸成するプラットフォームとしての側面を持つラジオ。音声のみで情報を伝達するその特徴によって、聴く人たちに様々な視覚的イメージを喚起させます。映像や書籍といった視覚的メディアのコンテンツが音声に置き換えられ、ラジオで放送されたときに受ける元のコンテンツとは違う新鮮な印象は、ラジオの醍醐味のひとつと言えますが、視覚的な障がいのある人たちにとっては、こうしたコンテンツの置き換えが、情報を得るための機会を保障していると考えられることも可能です。

ラジオを巡る様々な思考にトライしながら、これからの「公共・メディア」について考えていきましょう。

開催概要

山口情報芸術センター[YCAM]:長期ワークショップ
meet the artist 2011「ライブラリーラジオをつくらう」

2011年4月―2012年2月(通年)

講師:桂 英史(メディア論研究者) 主催:公益財団法人山口市文化振興財団
対象:高校生以上 後援:山口市、山口市教育委員会
参加無料 ※要申込 助成:財団法人地域創造
企画制作:山口情報芸術センター[YCAM]

■公開イベント

アーティストレクチャー「ライブラリーラジオ宣言」

2011年4月24日(日) 14:00―16:00

会場:山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA
講師:桂 英史
対象:高校生以上
入場無料 ※要申込

meet the artist 2011 講師



桂 英史 | かつら えいし
メディア論研究者

1959年長崎県生まれ。現在、東京藝術大学大学院映像研究科教授。メディア研究、図書館情報学、文化史、コミュニケーション論などの知見を駆使し、著作だけでなく、せんだいメディアテーク(宮城県仙台市)やメディアセブン(埼玉県川口市)などさまざまな公共施設開設のコンサルティング、精神病院での映像製作プロジェクト、岩波映画などのアーカイブ活動まで、常にラディカルな姿勢で文化芸術の公共性や可能性を押し広げている。主な著書として、『インタラクティブ・マインド』(NTT出版)、『人間交際術』(平凡社新書)などがある。

市民コラボレーター応募要項

活動期間:
2011年4月～2012年2月

募集対象:
高校生以上で、活動期間中のミーティングに参加可能な方。経験や知識は問いません。4月24日に開催されるアーティストレクチャーに参加しなくても、応募は可能です。
※ミーティングの開催頻度や運営方法は、コラボレーターが話しあって決めます。

募集期間:
ワークショップは5月中旬から開始されますが、それ以降も随時応募できます。

市民コラボレーター/アーティストレクチャー申込方法

はがき・FAX・e-mailにて、「市民コラボレーター応募」あるいは「レクチャー参加希望」と明記のうえ、住所、氏名(ふりがな)、性別、生年月日、電話番号・e-mail等連絡先とともに、下記へお申し込みください。
〒753-0075 山口市中園町7-7 山口情報芸術センター
FAX: 083-901-2216 / e-mail: workshop11@ycam.jp